

# ゆめ通信



2~3 食べて栄村を応援しよう! 栄村産 行者にんにくを使って

4 築夢屋プロジェクト

5 地域発 地域から松大生へ .....

6 学生発 学生企画の地域連携活動

7 学生ゆめ

8 Information



考房「ゆめ」は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房「ゆめ」キャラクター こう坊





# さかえ むら 食べて栄村を 応援しよう!

栄村産 ぎょうじゃ 行者にんにくを  
使って



写真提供：栄村役場

## できることからまず一歩

2011年3月12日、長野県北部地震で被災した栄村。この村を何とか応援したいという気持ちから、松本大学学生有志が「ええじゃん栄村」というプロジェクトを立ち上げました。



## 栄村への復興支援活動

### 1 農産物・加工品の販売と販路拡大

全壊した栄村農産物直売所「かあちゃん家」で扱う栄村産の山菜、野菜、味噌、米、加工品等の販路拡大に向けた活動を学内外で進めました。

### 2 トマトジュースの販売と寄付

各種イベントで一般財団法人栄村振興公社が発売する“栄村産トマトジュース”の販売を行い、その収益金を栄村「かあちゃん家」の再建資金として全額寄付しました。

### 3 観光客の誘致

「栄村きてみてマップ」の作成(右ページ)

### 4 特産品を使用した商品開発と販売

栄おかしくらぶと共同開発した、栄村産“行者にんにく”を使った3つのお菓子デビュー 他

### 5 募 金

上記販売時に募金箱を置き、栄村に寄付します。

## 栄村の特産品“行者にんにく”を使ったお菓子ができました!

「行者にんにくを使用した保存のきくお菓子を作って欲しい」と依頼を受けてから商品の販売に至るまで、約1年という月日がかかりました。

その独特の臭いに、「これを使用したお菓子を開発する事なんて出来るのだろうか」とすごく不安になりました。また、栄村との距離も遠く、担当の方とお互いの意見を合わせる事もとても大変でした。何度も試作を重ね、パッケージに貼るラベル製作では、プロジェクト外の松大生に協力してもらい、試行錯誤しながらでしたが今回商品化に至りました。

今後も商品を継続して販売し、栄村が被災した事を忘れないよう、多くの方々に伝えていくことができればいいです。また、この商品が栄村の名産品として広まっていき、全国に知られていって欲しいです。

小池 理央 (健康栄養学科 2年)

私たちは被災して全ての材料を失い、活動拠点が復旧するまで何も手を付けられず、大量の在庫品が販売不能となり、このまま自然消滅してしまうのかと思っていました。



この度、松本大学さんとのご縁をいただいて新商品を開発することとなり、意気消沈していた私たちの気持ちを奮い立たせていただいたことに感謝しております。

まだまだ未熟な私たちですが、一つひとつ歩み出せばいいと思っております。

栄おかしくらぶ代表 斎藤 寿美

栄村村民



栄おかしくらぶ

✕ コラボ

松本大学学生



ええじゃん栄村

もともと商品開発が目的で集まったメンバーですが、震災4カ月後の栄村を訪ねたことから「商品開発どころではない!まず復興支援が先だ!」と思い、栄村産の商品販売を行い、利益を直売所「かあちゃん家」の再建資金として寄付しました。2年目に栄村からの依頼で商品開発を行い、後輩たちに引き継がれて実現され、本当に嬉しく思います。

栄村は遠いため、状況も気持ちも汲みとれずに私たちの活動が困難になった時期もありましたが、いま振り返ると「相手に今何が必要なのかを考えながら行動すること」を学ぶことができました。

梶村 麻美 (健康栄養学科 3年)





# 美味しい 新商品デビュー!!



## NEW 行者さんのつえんぼ

行者にんにくの味を生かした香ばしいスティックに仕上がりました。焼き加減が難しく、スティック状にするのに苦労しました。噛めば噛むほどおいしい味わいが口の中いっぱいに広がります。

¥350 (税込)

考案者：町田 桃子  
ラベル考案者：栗原 楓



## NEW おつまみクラッカー

どんな世代の人にもおいしく食べていただけるように味つけとサクサクした食感にこだわりました。子供のおやつやお酒のおつまみにと家族みんなで食べてほしいクラッカーです。1枚食べたら、止まらなくなる美味しさです!

¥500 (税込)

考案者：梶村 麻美×宮下 優梨  
ラベル考案者：栗原 楓

## NEW 栄ゆめせんべい

クッキーのようなおせんべいを目指して試作を重ねました。なかなかそのような新食感を出すことが大変でした。栄村産の胡桃を使った、子供のおやつにもコーヒーのお供にもピッタリな一品です!

¥500 (税込)

考案者：福原 奈都紀×赤津 志保



### 今後の販売予定

- 常時：栄村物産館 道の駅・信越さかえ「またたび」
- 10月19日(土)・20日(日)：松本大学梓乃森祭
- 10月27日(日)予定：栄村収穫祭
- その他、各種イベントにて販売

お菓子販売の様子は、「ゆめ」ホームページ、学生スタッフブログにも詳しく載っています。そちらもご覧ください。  
URL：[http://www.matsu.ac.jp/matsumoto\\_u/yume/](http://www.matsu.ac.jp/matsumoto_u/yume/)

## 栄村きてみてマップ☆

### 栄村について知ろうよ!



#### かあちゃん家

農産物直売所です☆  
地震によって被害を受け、取り壊されてしまいました。

私たちは林産を全額「かあちゃん家」に寄付します!

#### ③ 県宝☆阿部家住宅

※見学は家主に一言こたわってからお願いします。

#### ⑤ 北野天満温泉

イワナ信濃マスは絶品♡♡

#### ⑥ とねんぼ

秋山郷の観光案内所

#### ⑦ 秋山郷保存民家

築20年以上という驚き!!

#### ⑩ 和山温泉

朝夕に変わる鳥甲山が見られます♡♡

#### ⑪ 切明温泉

自分でほって♫温泉をつくらう♫

#### ① 栄村国際絵手紙新タイムカプセル館

～絵手紙のむら、栄村～  
次世代に絵手紙を残すためにたてられた館

#### ② またたび(栄村物産館)

山菜、おそばなど栄村ならではの産物が目白押し

#### ④ 北野天満宮(学問の神様)

テストでバッチリでした!!

#### ⑧ 屋敷温泉

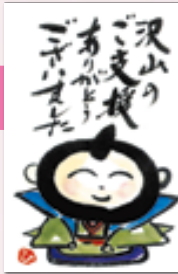
天狗によりお湯が5色に変化☆

#### ⑨ 上野原温泉

鳥甲山見えマス



栄村は長野県最北端にある絵手紙の村です



栄村から、感謝の気持ちを絵手紙に託して…

### 松本大学におけるこのほかの栄村復興支援活動

- 信濃X学生による復旧作業 (23年5月)
- ゆめ撮影隊による大学祭での栄村写真展と絵はがき販売での観光客誘客支援 (23年10月)
- 短大部学生会役員による雪かき作業 (24年3月)
- 松本大学教職員・学生及び後援会による募金と寄付

### 復興支援のカタチ

復興支援活動には、直接支援と間接支援があります。復旧作業等による労力支援や地域の方々へのやる気や活力といった生きる力を育む後方支援、寄付による金銭支援等様々な形があります。

本学の栄村復興支援活動は、村民の方々にも少しでも元氣になって欲しいと、栄村産特産品の販路拡大や商品開発・販売、観光誘客といった栄村にある資源(ヒト・モノ・コト)を活かして、活動を行ってきました。

今回の開発商品の販売は、栄おかしくらぶ、村内商店、栄村絵手紙「芽吹きの会」、物産館「またたび」、直売所「かあちゃん家」、栄村村民への間接支援となり、皆さんのやる気を応援する活動となりました。

(コーディネーター 福島 明美)

### お問い合わせ

栄おかしくらぶ

FAX: 0269-87-2889

松本大学地域づくり考房「ゆめ」  
学生プロジェクト「ええじゃん栄村」

TEL: 0263-48-7213

FAX: 0263-48-7216

大原 ひろみ作



# ● 地元産の低農薬野菜や美味しい加工品を販売・配達します！ ●

## ちく り や 築夢屋プロジェクト



### 松本大学学生による 夢を築く直売所『築夢屋』

築夢屋とは、学生が地元の農家さんと連携し低農薬で栽培した朝採りの新鮮野菜や果物、さらに南安曇農業高校の生徒さんが作った加工品などを販売するお店です。

安全・安心な食材を食卓にお届けします。

#### 活動 その1

#### 地元農家さんと連携した 農産物販売

築夢屋は昨年の4月に1年生6人でプロジェクトを立ち上げ活動を始めました。地元生産者の野菜・農産加工品を地域の人たちに提供することにより食の安心を通じた幸せづくり、人が集まる憩いの場づくりを目的にしています。これまでの活動で商品の選定や、PRの難しさを学びました。また、新村文化祭や松本矯正展に参加したことで地域の方との交流もできました。そのことを活かして配達サービスを始めることになりました。

#### 活動 その2

#### 収益金による地域の方との交流イベント

NEW

#### 活動 その3

#### 希望者の皆様への 配達サービスの実施



NEW

#### 活動 その4

#### 学生による 農産物の栽培



#### 活動 その5

#### 高綱中学校との 合同販売

松本大学地域づくり考房『ゆめ』との共同販売では、生徒たちは普段なかなか接することのできない大学生と一緒に、学校を離れての販売活動ができたということで、コミュニケーション力を高め、自信が持てる活動になったと感謝しております。今後も共同販売ができる機会を増やしていければと思います。ありがとうございました。

高綱中学校 中川 満英先生



### 連携していただいている地域の方々

- 生産者…………… あづみ野フルーツランド  
山形村 降旗 茂男さん  
南安曇農業高校
- 活動場所の提供… (株)茶運堂・みすず屋雑貨店
- 畑づくり…………… くれき野生産組合(くれき野ガーデン)



(株)茶運堂の軒先をお借りして営業しました。

### 活動への意気込みと感想

- 今年度築夢屋では6人の新メンバーを迎え装いも新たに活動を始めました。新しい仲間も加わり前年に増して責任とやる気を感じています。また、地域の皆様と関わる機会が増えてきました。地域の皆様に愛されるお店を目指して努力したいと思います！

小澤 岳正 (観光ホスピタリティ学科2年)

- 初めてお店に出てみて、たくさんの方が来てくださって嬉しかったです。苦勞して作った商品カタログを地域の方が見て注文していただきました。配達をして地域の方と触れ合ったことが一番楽しかったです。これからも地域の方のために安全・安心な野菜をお届けしていきたいです。

中村 葉月 (松商短期大学部1年)

- 7月22日には高綱中学校の皆さんと、合同で販売をしました。生徒の皆さんは、とても活気があり、大勢の人たちに来店していただきました。私たちも元気をたくさんいただきました！機会があればこれからも一緒に活動をしていきたいです。

石田 かすみ (松商短期大学部1年)





# 地域発

# 地域から松大生へ

考房『ゆめ』には、地域の皆さんから「学生と一緒に活動したい」「手伝ってほしい・参加してほしい」等の依頼が多数届きます。学生は各々の興味・関心・特技を活かしてこれらの地域活動に参加しています。



## 故郷中国を思いだした交流

### 介護老人保健施設「山望苑」留学生交流ボランティア

山望苑という老人施設から依頼があつて、友達と数回行ってきます。そこで赤羽さんという男性と会話しました。赤羽さんは96歳です。60年前に仕事で中国へ行っていたそうです。今でもしっかり中国に行った時の事を覚えています。会話をする際に、一緒に仕事をした人たちの名前を全部書きます。中国にいた頃は週末には2時間かけて瀋陽市内へ行って、映画を見て、また仕事の場所へ戻ったそうです。

赤羽さんは私と会話をする事で、昔の話や中国の話ができる事を喜んでくれます。赤羽さんの住んでいた地域は私の故郷です。私は「昔はこんな事があったんだ。」と思って懐かしくなります。また、日中友好を深める事ができて良かったです。

王 陶 (松商短期大学部2年)

### 懐かしさで胸いっぱい

今回、松本大学の中国からの留学生と中国語で、久しぶりに話をすることができました。大変うれしいです。昔を思い出しながら中国の話ができ、懐かしいです。彼女たちは、性格もよく勉強好きで、親しく接してくれます。中国語の発音は難しいのですが、彼女たちは標準語である北京語で話し、発音はきれいではっきりしています。心地よく聞かえて分かりやすく、楽しいひと時です。

赤羽直美さん (96歳)



## つながりや絆が育まれた

### まつもと街なか大道芸ボランティア

震災の後騒がれていた「つながり」や「絆」という言葉も最近ではほとんど聞かなくなった気がします。私はそれらのことが一過性のものでなく社会に浸透して人々のつながりが強く、優しい街になってほしいと思います。



今回のボランティアで私は笑顔ですれ違う人に挨拶をし、「熱中症にならないように気を付けて楽しんでいてください」と声掛けをし、ピエロの鼻を販売しました。このような小さなことが大切だと感じます。

私は、これからもボランティアに積極的に参加し、多くの人と交流することで「小さな心がけの輪」が広まり、「つながり」や「絆」の強い街になればいいなと思っています。

横山 仁夏 (松商短期大学部1年)

## 歌にのせて届けたい私たちの心

### 有料老人ホームセントラル・ビオスコンサート

今回考房『ゆめ』を通して、松本大学卒業生の犬飼さんからお誘いがあり、参加させていただきました。歌を通して世代を超えた交流を深めることを目的に9曲を歌いました。「ふるさと」では施設の利用者さんも一緒に歌ってくださり、とても楽しい時間を過ごすことができました。私たちの発表を皆さん真剣に聴いていただき、緊張しましたが部員それぞれ自信を持つことができました。今後は活動を活かして大学内だけでなく積極的に地域に出て行き、様々な場所へと足を運び、歌を通して地域との交流を深めていければと思っています。

アカペラ同好会 齋藤 由衣 (観光ホスピタリティ学科3年)



アカペラコンサート  
発表曲  
♪夜空ノムコウ  
♪カントリーロード  
♪川の流れるように  
♪上を向いて歩こう  
♪ふるさと  
他

## 私の学生時代と今後の学生に願うこと

学生生活を過ごした松本大学は、地域に根差した活動や社会貢献できる講義など、学外に出て活動をする場面・機会が多い大学です。学生時代に経験したそれらが、社会に出てから役立つ力となり、今の私のバックボーンになっています。

今回コンサートを企画担当することになり、松本大学地域づくり考房『ゆめ』に相談しました。アカペラ同好会の学生の皆さんが担当して下さることになり事前打合せを行いました。「学生の皆さんにはこういった貴重な機会を大切に、何事にも挑戦してほしい」と学生時代の自分の姿に重ね合わせて想いました。

(株)ウェルライフ信州 犬飼 祐介 (H23年度卒業)

## コンサートのご感想

参加者の方より  
「楽器を使わないコンサートが新鮮だった」  
「みんなで合唱ができて楽しかったです」  
「若い学生さんの声に心が癒されました。是非また来て頂きたいです」

職員より  
「楽器やマイクを使わなかったことで、皆さんが耳を傾けて聴いていました。普段よりも、より集中して歌を楽しんでいたように思います」



# 学生企画の地域連携活動

地域づくり考房『ゆめ』では、学生の地域社会への興味・関心・問題意識の中から生まれた学生プロジェクトの活動の他、大学の部活・サークル活動による地域活動、講義での学びを活かして生まれた企画や活動を支援しています。

## 学生プロジェクト『楽しい縁側づくり』

# 七夕会

in みすず屋



## みすず屋だよ！全員集合！

7月10日、学生企画イベントの「みすず屋での七夕会」がありました。土蔵づくりで、昭和レトロな雰囲気のみすず屋は大学のすぐそば。今年5月から週一回、みすず屋を訪れ、地域の皆さんと交流してきた学生6人で企画しました。企画学生は「同年代の方だけではなく、色々な年代の方と交流したいと思った」「交流をきっかけに、地元での新たな発見もある」と話していました。

学生と店主の古屋さんで作ったそうめんとフルーチェは地域の皆さんに大好評で「おかわり！」の声が飛び交っていました。新村では、昔より店は減り人が集まる機会は少なくなったそうです。その中での今回の企画は、学生と地域を結ぶ懸け橋になりました。店主の古屋さんからは、「何かを企画したりすることで学ぶこともあります。料理を作るだけでなく、提供の仕方なども考えて次につなげてほしい」と学生へエールを頂きました。

(宮淵 翔子)

### こぼれ話 七夕会でのひとコマ

- ~北新・松本大学前のネーミングの由来~  
皆さんご存知の駅名だと思いますが、かなり長い名前ですよ。地域の方のお話によると「本当は『松本大学前』だったが、北新の地名を抜くと昔の雰囲気を壊してしまうから」という理由で付けられたそうです。
- ~店主さんのこだわり!?!~  
みすず屋の麦茶には氷が入っていません。「氷を入れすぎると急に冷えるので身体に悪い!」との事です(笑) 皆さんも冷たい物の取りすぎには気をつけましょう。



## 信濃 X アプリ開発

### 【信濃 X とは~】

若者の視点から、地域の問題・課題に対し IT 技術を用いて情報発信をし、学生・地域の方に問題提起を行っている学生プロジェクトです。

### 【アプリ製作について】

スマートフォンの普及に伴い、インターネットへの接続が容易になりました。地図情報をアプリケーションにすることで、誰でも必要に応じて速やかに情報を入手できます。そこで、今回5種類のアプリを開発し、発信することで、多くの方に役立てていただこうと考え製作しました。今後も地域の方のニーズにあわせ、地図(マップ)アプリの種類も増やしていきます。多くの方に利便性・需要を知ってもらい、活用していただきたいと考えています。



### 【製作した地図(マップ)アプリ】

- ①トイレ ②駐車場 ③松本水めぐりマップ ④信州三つの星レストラン ⑤災害時指定避難場所  
(地域範囲: ①~③松本市中心市街地 ④中信地域 ⑤松本市全域)



# 学生ゆめ



夏も終わり、暦の上では秋になりましたが、まだまだ残暑が厳しいですね。皆さんは夏に良い思い出を作れましたか？

今回の『学生ゆめ』は7月に行われた新村の『ふらば〜るバレー大会』についてと、考房『ゆめ』の縁の下の力持ちである撮影隊の活動を紹介します。



## 『ふらば〜るバレー大会』に参加してきました☆

ヴォレレレ

今年度発行した、松大生がつくる情報誌「Volere!!vol.2」で、色々な新村のイベントを掲載させていただいたところ「ぜひ参加してほしい」とお誘いを受けました。そこでゆめ通信編集委員 7 名でチームを組み、七夕の日に芝沢体育館で行われた『ふらば〜るバレー大会』に参加！その感想を、編集委員を代表して2人がお伝えします！

集まっている皆さんは私たちより年上の方々でしたが、熱気に満ち溢れていました。実際にやってみたら軽い力で簡単にでき、楽しかったです。今回の大会には若い人の参加が少ないようでしたが、家族の応援で来ていた子供たちがたくさんいました。これから先もこのイベントが続いて地域の交流が深まっていけば良いなと思いました。

中村 葉月 (松商短期大学部)

私はふらば〜るバレーボールを授業で一度やったことがあったので、大体のルールは分かっていたのですが、普通のバレーと違う点が多いので難しかったです。前半はあまり点数を入れることができませんでした。空いている時間を使って練習し、後半では声を掛け合ってボールをつなぐことができました。新村の地域の方々と交流できる楽しい機会でした!!

百瀬 香織 (松商短期大学部)



ふらば〜るバレーボールとは…  
少し変形した軽いボールを打ち合うバレーボール型のスポーツです。

学生主体のプロジェクト紹介!

## ゆめ撮影隊

### どんな活動をしているの？

ゆめ撮影隊は、他のプロジェクトの活動を写真や動画で撮影・記録しています。

それを、考房『ゆめ』の前にある「ゆめアルバム」というホワイトボードに、季節に合った装飾をして撮影した写真を掲示しています。また、動画を編集し、DVDを制作しています。

このように活動を公開することで多くの方々に学生が行う地域貢献活動を知ってもらい、学生が活動へ参加するきっかけになることを目指しています。

### 松本大学祭

10月開催

## ゆめひろば ～梓乃森祭～

10月には松本大学の「梓乃森祭」が開催されます。考房『ゆめ』では、恒例の「ゆめひろば」を開催します♡「ゆめひろば」は、学生・地域の方・卒業生と一緒に創る広場です。考房『ゆめ』の各プロジェクトの開発した商品や企画・展示が楽しめます。

みなさんぜひ足を運んでみてくださいね(\*^\_^\*)

- 期日：10月19日(土)・20日(日)
- 時間：10:00～
- 場所：松本大学5号館ロビー 他

みんな GOOO!!!



※申し込み・問い合わせは地域づくり考房『ゆめ』まで



## 平成25年度 第2期 松本大学地域づくり 学生チャレンジ奨励制度

松本大学学生の主体的な社会貢献活動を応援します。

- 助成金：1グループ上限10万円
- 応募締め切り：9月13日(金)
- 応募方法：応募用紙のご請求及び申し込み・問い合わせは地域づくり考房『ゆめ』まで

## 第3期 松本大学 地域づくりコーディネーター養成講座 認定証書授与式・実践報告・討論会

地域社会に役立つ人材育成を目的に開催しています。約一年間の講座を終え、審査会を経て認定された受講生への認定証書授与式と実践報告及びコーディネーション力アップの討論会を大学祭にて行います。地域づくりの要“コーディネーター”の想いを一緒に共有しませんか。

### 【認定証書授与式】

- 開催日：10月20日(日) 13:00～
- 場所：体育館前ウッドデッキ

### 【実践活動パネル展示】

- 開催日：10月19日(土)・20日(日)
- 場所：松本大学5号館521教室

### 【地域づくりコーディネーター討論会】

- 開催日：10月20日(日) 13:30～15:30
  - 場所：松本大学5号館521教室
  - 発題：第3期認定者
  - 対象者：地域づくりやコーディネーションに関心のある方
- ※申し込み不要。詳細は地域づくり考房『ゆめ』まで。



## 第1回 楓祭り

- 開催日：11月10日(日) 8:30～16:00  
※事前準備から手伝っていただける方も募集しています。
- 場所：デイホーム楓(安曇野市三郷)
- 対象者：楓に関心のある方。昔遊び(お手玉、こま、あやとり)等ができる方。
- 内容：昔遊び・料理の手伝い 他
- 主催：NPO法人アルウィズ デイホーム楓

## つぶやき

私は7月に、イギリスのリーズメトロポリタン大学で行われた「2013 Summer International Exchange Program」に参加しました。初めての海外、慣れない英語での会話…不安なことばかりでしたが、先輩や先生、他の参加者に助けをもらいながら、なんとか最後までやり遂げる事ができました。

「文化観光の開発」をテーマに、イギリスの博物館や歴史ある街を訪問し、観光資源の捉え方や、活かし方を学びました。また、日本との文化の違いはとて新鮮でした。

他国の学生の積極性、自主性の強さにも大変刺激を受け、あらためて自分の未熟さにも気づきました。今回の学びや経験を活かし、今取り組んでいる学生プロジェクトの活動にも積極性を持って関わること、自主性を持って取り組むことを目指していきたいと思います。

矢崎 祥子 (観光ホスピタリティ学科3年)

# 松本大学と地域をつなぐ イベント情報



## 第14回 全国まちづくりカレッジ 2013in東京開催

日頃まちづくりを行う全国の学生が集い、研修交流会を行います。

- 開催日：10月12日(土)～13日(日)
- 場所：明治学院大学白金キャンパス
- 内容：1日目 フィールドワーク、懇親会  
2日目 プレゼンテーション、オプションツアー
- 主催：全国まちづくりカレッジ2013in東京実行委員会



## アースデイ信州

- 開催日：9月28日(土)～29日(日)
- 場所：松本城
- 内容：環境、食、農、平和等に関する、市民活動団体、NGO、農家、大学等ブースが出展。それぞれのテーマについて活動紹介や商品販売等を行う。メインステージでは音楽演奏やピーストーク等を開催。
- 主催：アースデイ信州実行委員会



## アルプス あすなろ祭



- 開催日：10月26日(土) 9:45～15:00
- 趣旨：日頃の利用者さんの成果や様子を皆さんに知ってもらおうと共に、楽しい学園祭になるよう利用者さんと一緒に盛り上げる。
- 主催：障害者支援施設 アルプス学園

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



## 松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1  
松本大学 7号館 2F

TEL: 0263-48-7213 (直通)

FAX: 0263-48-7216 (直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

URL: http://www.matsu.ac.jp/matsumoto\_u/yume/

※開館日時：火～金 9:30～18:30  
月・土 9:00～16:00